

障がい者アート展 / みんなではぐくむアートの森

はる

春

うごめ

蠢く

かがや

いのちの輝き

EXHIBITION

入場無料

2026>

4.11 ▶ 4.19

月～木 11:00- 19:00 ・ 金土日 11:00 - 17:00

■映画上映会&アフタートーク 4月17日(金) 18:30~21:00【1,500円/事前申込制】

□映画『まひるのほし』上映 18:30~20:00

ドキュメンタリー作家 佐藤真氏が知的障がいのある

7人のアーティストの創作活動を追ったドキュメンタリー映画

□アフタートーク 20:00~20:30

ゲスト 田中正博氏(独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 理事長)

□交流会 20:30~21:00 (参加任意)

詳細・申込: <https://wgpmovie40.peatix.com/>



会場: 株式会社大川印刷

社会課題解決型スタジオ with GREEN PRINTING (横浜駅徒歩3分)

横浜市西区高島2-14-12 ヨコハマジャスト2号館3F TEL:045-441-2011(代)

【横浜駅東口から横浜営業所までのルート】

1. 横浜駅東口をでて右手にある横浜中央郵便局と、崎陽軒様本店の間にある道を、道沿いにまっすぐ進みます。

2. 途中で右手にドトールと吉野家が見えてきます。その間に位置しているビルの3階にございます。

<https://withgreenprinting.com/access/>



ひたむきに、ひたすら黙々と自分を表現した作品
一つひとつのいのちの尊さや輝きがあふれ出す



展示作品は一部作品を除き販売し
売上はすべて出展者にお渡します

主催: 公益社団法人日本フィランソロピー協会 共催: 株式会社大川印刷

お問合せ 公益社団法人日本フィランソロピー協会 TEL03-5205-7580(平日10:00~18:00 土日祝休み)



【ご挨拶】

“障害は個性である”ということが言われ始めてずいぶん経ちます。当協会では1995年より機関誌「フィランソロピー」の表紙に主に知的障がいのある方の絵画作品を使わせていただいています。彼らの独特の感性や視点などが作品に表現されたときのエネルギー、あるいは浮遊感、またはまっすぐに突き抜けるような魂の表出などに圧倒され続けています、その作品の魅力を読者の皆様にお伝えしたい、さらにその先の作者自身の個性あふれる人間像に触れていただきたい、という思いで今日までアーティストとの出会いを求め続けています。そして、1998年には、障がいのある方のアートと暮らしをテーマにした映画『まひるのほし』を製作しました。彼らの作品と暮らしを描いたドキュメンタリーです。当時、映画を観た障がい者のお母さまが、「自分亡き後の子どものことが心配だった。でもこの映画を観て、我が子がこのような温かい仲間と囲まれて暮らせるなら、私は死んでも大丈夫だと思えた」と仰いました。彼らが生み出す素敵なアート作品は、彼らの才能や個性から生まれるものですが、同時に彼らの作品は周りの人との関係性が大きく影響しているようです。作品を通して、そんなことも想像しながらアート作品を楽しんでください。そして、思い込んでいた既成概念を揺らし、バリアを超えるような感覚を味わっていただけたら、と願っております。いのちが軽んじられている昨今、彼らの作品に「一つひとつのいのちの尊さや輝き」を感じ、ひたむきに、ひたすら黙々と自分を表現した作品との出会いを楽しんでいただけたら幸いです。また期間中に開催する映画「まひるのほし」を是非ご鑑賞ください。

公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長 高橋 陽子

【アート展】 入場無料

出品作品 ※作品は一部作品を除き販売し、売上はすべて出展者にお渡します

以下の団体の協力を得て、横浜を中心とした神奈川県在住アーティストの作品を展示・販売いたします。全45点、うち36点販売、その他 雑貨販売あり。

- 横浜ラポール・ラポール上大岡(社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団)
作家名/かぼとた、ねもとおさむ、サトリ、高橋知子、一ノ瀬啓、TahiKo、原田正子、タカゾー、横山祥平、六ツ見光莉
- アート・メープルかれん(運営団体:社会福祉法人かれん)
作家名/磯部涼、加藤瑠衣、西岡めぐみ、百田佳恵、宇都口竜太、成富幸
- 株式会社愉快 studio COOCA
作家名/Kuu、kent dai、dai harayama、reona hirai、yu ichizaki、kayo horie、Riho
- 道工房(運営団体:NPO法人道)
作家名/諸石健、藤井真、田口圭介、花寿、Akane.t、N・N、Kamé、kazue
- アート屋わんど(運営団体:NPO法人ふかぶか)
作家名/三好綾、横田恵美、横山祥平、佐藤隆信、櫻井航希、濱田綾、小山翔平、塚越直樹、井出照斗志、大島秀一



「赤い目のふくろう」 横山祥平
5,000円



「バナナ」 加藤瑠衣
4,000円



「生命の樹」 Kazue
22,000円



「屋久島にて」 N・N
35,000円



「神白樹」 Kuu
非売品

【映画上映会】 1,500円/事前申込制

『まひるのほし』作品紹介

本作に登場するのは、7人の知的障がいのあるアーティストたち。

武庫川すずかけ作業所で絵を描くシュウちゃん、信楽青年寮で陶器を制作するヨシヒコさん、平塚の工房で創作を続けるシゲちゃんを中心に、作品制作や展示の様子、そして日常生活が描かれます。啓蒙的でも告発的でもない、ナレーションを排した静かな映像の中で、彼らの創作と日々の営みが軽やかに、時にユーモラスに映し出されます。観る者は構える必要のない自然な視線の中で、「障がい」という枠を超えた表現の力と人間の豊かさに触れることとなります。

アフタートーク

映画とアート展をつなぐ視点から、表現と社会について語ります。その後、希望者による交流の時間を予定しています。映画を通して感じたことを言葉にしなが、参加者同士で思いを分かち合うひとときです。

ゲスト: 田中正博さん(独立行政法人国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園 理事長)

モデレーター: 高橋陽子(公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長)

映画上映会&アフタートークお申込み <https://wgpmovie40.peatix.com/>

